

# 研修から見える理科の授業改善の視点

## 1 はじめに

理科では、教材紹介、授業展開例の紹介、模擬授業による授業研究を中心に基本研修を運営しています。今回は、基本研修の感想から授業改善の視点を読み取ってみました。感想の内容は、小・中・高の学校種によらず同じです。ここでは、二つの本質にかかわる感想を紹介します。



夜の天体観測  
(高等学校初任者研修)

## 2 感想から見える授業改善の視点1 <自ら楽しむ>

化学には苦手意識があったが、実際に実験をやったら、おもしろかった。(小初)

教員になってから自分のための実験ができなかったので、学生に戻ったようで大変楽しく研修ができました。自分が味わったこの楽しさを、是非、現場で子どもたちに伝えたい。(中初)

実際に望遠鏡で木星を見ることができて感動した。子どもたちにもぜひ見せてあげたいと思った。(小初)

子どもたちに、楽しんで学習させるには、教師自身が楽しんでいることが大切であることが分かった。楽しむためにはそれだけの知識が必要なので、しっかり教材研究していきたいと感じた。(小初)

## 3 感想から見える授業改善の視点2 <教材理解と教材研究>

調べたくなるような導入の大切さを強く感じた。児童が課題意識を持つことで観察や実験、そしてまとめまでしっかりとできることが分かった。より深く教材研究を行いたいと思った。(小初)

中学校理科の地学の三つの単元について話をいただきました。表面的な学習しかしないままに生徒に教えていたので、しっかり深く学習して行かなくてはいけないと思いました。(中経Ⅱ)

専門的な見方をすると教材に対する考えが変わるのだということを感じた。しっかり予備実験をして授業に取り組んでいこうと思う。(小初)



電磁石の強さ  
(小学校経験者研修Ⅰ)

子供からの疑問、気付きを拾い上げて単元を構成し、見通しを持たせたいと考えている。そのためには、内容をねらいにまっすぐ向かうような実験装置にすること、教科書の実験のポイントをしっかり押さえることなど、理科的な教材の見方をしっかりとすることが大切であると思った。(小経Ⅱ)

## 4 おわりに

新たな現象を発見したり原理や法則に気付いたりすることはとてもおもしろいことです。前半の感想は、観察・実験の重要性と、それらにより実感を伴った理解が可能になることを示しています。また、後半の感想は、十分に教材研究を行って教材を理解し工夫しながら導入、展開、まとめをしっかりとすることが、子どもたちに確かな知識を定着させ、思考力や表現力を育成することにつながることを示しています。さらに、子どもたちのつまずきを予想することで、板書や指示や発問の工夫も必要となることに気付くでしょう。ここに紹介した感想は、あらためて私たちに、自己能力の開発を図ると同時に、教材理解を深めることの大切さ訴えています。授業改善の意識を持ち続け、気付いたことからスタートしてみましよう。最後も研修者の感想で締めくくります。



模擬授業  
(小学校経験者研修Ⅱ)

自分で模擬授業を行い、それを評価してもらうことで、見えなかった点や新たなアイデアや改善点がはっきりした。また、他の方の授業を評価することで自らの授業も振り返ることができた。(高経Ⅱ)

模擬授業を行いました。準備が不十分で心構えができていなかったと思います。生徒にとっては一生に一度しかない授業なので、その1時間1時間を大切にしていきたいと思います。(中経Ⅱ)